

今月の  
トピックス

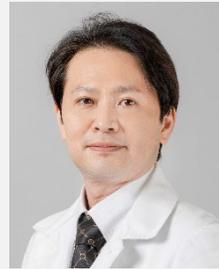
## JCOG2317 肺がん外科グループ 新規試験

JCOG肺がん外科グループの新しい試験であるJCOG2317「切除可能な臨床病期II-III期非小細胞肺癌に対する術前療法後手術と手術先行療法に関するランダム化比較第III相試験」が現在開始準備中です。本試験の立案にあたり、JCOG肺がん外科・内科グループにおいて綿密な議論を重ね、科学的根拠に基づいた慎重な計画を立てました。プロトコール作成、承認に至るまで、JCOGデータセンター、運営事務局、審査委員をはじめとする関係各位の多大なるご支援に深く感謝申し上げます。

本試験は、切除可能な臨床病期II-III期非小細胞肺癌において、現行の標準治療である手術先行療法と、免疫チェックポイント阻害薬(ICI:immune checkpoint inhibitor)であるニボルマブを用いた術前療法後手術の有効性を直接比較するものです。

現在の標準治療は、まず手術を行い、病理病期に応じて術後療法を考慮する手術先行療法です。近年、手術およびシスプラチン併用術後化学療法後にICIを追加する治療の有効性が示され、本邦の肺癌診療ガイドラインでも、シスプラチン併用術後化学療法後の1年間のICI投与が推奨されています。

一方、CheckMate816試験では、術前ニボルマブ+プラチナ製剤併用化学療法群が術前プラチナ製剤併用化学療法と比較して無イベント生存期間の優越性を示し、日本でも承認されました。しかし、この試験の対照群である術前プラチナ製剤併用化学療法は、手術先行療法と比較されたエビデンスが乏しく、周術期ICI導入以前のガイドラインでは標準治療とは認識されていませんでした。そのため、ICIを含む術前療法を実施するための明確な根拠が不足しているのが現状で、術前療法後手術と手術先行療法のいずれがより有効かを明確にし、標準治療を確立することは喫緊の課題です。本試験の結果、術前療法後手術が全生存期間において優越性を示せば、標準治療は手術先行療法から術前療法後手術へと替わります。



研究代表者  
津谷 康大



研究事務局  
濱田 顕



薬物療法研究事務局  
堀之内 秀仁

これにより、より多くの肺癌患者に根治性の高い治療を提供でき、術後予後の改善やICI投与期間の短縮による医療財政負担の軽減も期待されます。

本試験は、JCOG肺がん外科・内科グループにおいて長年の議論を経て策定された極めて重要な研究です。我々はこの試験を通じて、切除可能な臨床病期II-III期非小細胞肺癌に対する新たな治療戦略を確立し、患者の予後改善に貢献することを目指しています。試験の成功には、参加施設の関係者および患者様のご協力が必要不可欠です。引き続き皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

JCOG2317 研究代表者 近畿大学呼吸器外科 津谷 康大  
JCOG2317 研究事務局 近畿大学呼吸器外科 濱田 顕  
JCOG2317薬物療法研究事務局 国立がん研究センター中央病院呼吸器内科 堀之内 秀仁

## JCOG研究の論文公表



### ◇ データセンター JCOG1903A 佐藤 雄哉先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/40009911/>

Validation of the Japan Clinical Oncology Group postoperative complications criteria against CTCAE for evaluation of postoperative complications (JCOG1903A), European Journal of Surgical Oncology, 2025 Jan 31, Online ahead of print

### ◇ 頭頸部がんグループ JCOG1212T4a 四宮 弘隆先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39913014/>

Dose-finding and efficacy confirmation trial of the super selective intra-arterial infusion of cisplatin and concomitant radiation therapy for locally advanced maxillary sinus cancer (JCOG1212): final analysis, International Journal of Clinical Oncology, 2025 Feb 6.

### ◇ 骨軟部腫瘍グループ JCOG0304S4 筑紫 聡先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39918167/>

Clinicopathological background of local recurrence in high grade sarcoma of the extremity with preoperative chemotherapy: a supplementary analysis of JCOG0304, Japanese Journal of Clinical Oncology, 2025 Feb 7, Online ahead of print

### 切除可能な臨床病期II-III期非小細胞肺癌

- T1-3、他臓器浸潤と同側の異なった肺葉内の副腫瘍結節がないT4
- N0-1、N2a (UICC-TNM第9版)

### 登録・ランダム割付

施設、cN因子(N0-1、N2a)  
PD-L1発現(TPS:<1%、1- $<$ 50%、 $\geq$ 50%、不明)  
年齢(70歳未満、70歳以上)

A群

根治切除

術後療法

シスプラチン併用術後化学療法

術後化学療法後のICI療法\*

\*PD-L1 TPS $\geq$ 1%の場合

B群

術前療法

術前ニボルマブ+  
プラチナ製剤併用化学療法\*

\*扁平上皮癌: CBDCA+PTX  
非扁平上皮癌: CBDCA+PEM

根治切除

JCOG研究に関わる研究結果やイベント情報など最新情報を発信しますので、ぜひフォローしてくださいね!

Xユーザーネーム: @JCOG\_official URL: [https://x.com/JCOG\\_official/](https://x.com/JCOG_official/)

Facebookページ URL: [https://www.facebook.com/JCOG\\_official](https://www.facebook.com/JCOG_official)

JCOGウェブサイトのトップページからも関連ページへアクセスいただけます。

# JCOG研究の論文公表



## ◇ リンパ腫グループ JCOG2008デザインペーパー 筑紫 聡先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39997358/>

Obinutuzumab maintenance versus observation for patients with newly diagnosed high tumor burden follicular lymphoma who achieved complete metabolic response after obinutuzumab plus bendamustine induction therapy: a multicenter, randomized, phase III study (JCOG2008, MAIN study), Japanese Journal of Clinical Oncology, 2025 Feb 25, Online ahead of print

## ◇ リンパ腫グループ JCOG0601S6 中島 貴裕先生

<https://doi.org/10.1016/j.bneo.2025.100077>

Prognostic Impact of RDI of Vincristine in Patients with DLBCL Receiving R-CHOP: A Supplementary Analysis of JCOG0601, Blood Neoplasia, 2025 Feb 16, Online ahead of print

## ◇ 肝胆膵グループ JCOG1407S2 濑木 太郎先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39984379/>

Depth of response in patients with locally advanced pancreatic cancer treated with first-line chemotherapy: A supplementary analysis of JCOG1407, Pancreatology, 2025 Feb 7, Online ahead of print

## ◇ 肺がん外科グループ JCOG0802S3 Letter to the Editor

中川 加寿夫先生

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1556086424024936>

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1556086424024948>

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1556086424024924#cebib0010>

# 担当医別月間登録数



## ◇ 肺がん外科グループ(月間登録数:5)

松原太一先生/九州大学病院

## ◇ 胃がんグループ(月間登録数:4)

李 基成先生/がん研究会有明病院

## ◇ リンパ腫グループ(月間登録数:2)

服部圭一朗先生/筑波大学医学医療系

鈴木康裕先生/国立病院機構名古屋医療センター

大間知謙先生/東海大学医学部

## ◇ 大腸がんグループ(月間登録数:3)

大隅寛木先生/がん研究会有明病院

須藤 剛先生/山形県立中央病院

小森康司先生/愛知県がんセンター

## ◇ 肝胆膵グループ(月間登録数:2)

長井和之先生/京都大学医学部附属病院

南野佳英先生/神戸大学医学部

渡辺 徹先生/富山大学附属病院

(担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

## 国立がん研究センター FUTUREプロジェクト



「満たされない患者ニーズを解決するための内科系研究プロジェクト」  
皆さまからのあたたかいご支援が、多くの患者さんの「FUTURE(未来)」につながります。

[https://www.ncc.go.jp/jp/d004/donation/future\\_project/index.html](https://www.ncc.go.jp/jp/d004/donation/future_project/index.html)

# グループごと月間登録数



登録数月次レポート

<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

| グループ   | 12月 | 1月  | 2月  | 合計  |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| 肺がん外科  | 68  | 71  | 67  | 206 |
| 胃がん    | 38  | 36  | 28  | 102 |
| 大腸がん   | 30  | 35  | 37  | 102 |
| 肝胆膵    | 21  | 24  | 21  | 66  |
| リンパ腫   | 23  | 19  | 20  | 62  |
| 食道がん   | 20  | 21  | 17  | 58  |
| 消化器内視鏡 | 6   | 20  | 7   | 33  |
| 放射線治療  | 12  | 6   | 7   | 25  |
| 肺がん内科  | 11  | 5   | 8   | 24  |
| 脳腫瘍    | 5   | 7   | 4   | 16  |
| 泌尿器科腫瘍 | 5   | 4   | 1   | 10  |
| 骨軟部腫瘍  | 3   | 4   | 2   | 9   |
| 頭頸部がん  | 4   | 3   | 2   | 9   |
| 乳がん    | 4   | 1   | 4   | 9   |
| 皮膚腫瘍   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 婦人科腫瘍  | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 合計     | 250 | 256 | 225 | 731 |

# JCOG

Japan Clinical Oncology Group

## JCOGデータセンターより

### ● 2025年2月の登録例は225例でした

今月も多くの患者さんに各試験のご説明をいただき、円滑な登録が進んでいることに、感謝申し上げます。

引き続き、円滑な試験運営のために、データセンター/運営事務局としても支援体制を整えてまいりますので、ご不明な点やご相談がございましたら、お知らせください。

